

大田原市の男女共同参画について



伊賀 純 議員

一般質問



鈴木 隆 議員

新型コロナウイルス ワクチン接種による コロナに強い地域づくりについて

質問.. ジェンダーギャップについて、本市のジェンダー平等に

対し、家庭、地域社会での女性の置かれている状況をどう把握され、市の施策の中にどう反映されているのか伺います。

答弁.. 男女が共に暮らしやすい社会を実現できるよう、審議会、委員会等に女性委員の参加を進めています。男女共同参画に係る広報紙や各種講座、女性団体

連絡協議会を中心として各女性団体と連絡を図りながら、ジェンダーギャップ解消に向け取り組んでまいります。

質問.. 現在、まだ男性中心の社会で働きかけが必要なのは、むしろ男性が中心の団体や社会ではないか。市の主導で、男性向けジェンダー平等の施策を展開していただけないか伺います。

答弁.. 市民向け講演会等に、男

性であっても女性の活躍に尽力している方や男女共同に携わっている方の実体験をお話しいただきながら周知を図っています。

また、市内の男女共同を理解、実践している優良事業者に対し、表彰制度を設け、今年度は、5団体を表彰しました。一般市民向けというより、特定の重点となるところにポイントを絞って、今取り組んでいるところです。

質問.. 乳幼児を預けられない方や高齢者で移動手段がない方、在宅の要介護者など会場等でのワクチン接種を希望しても受けられない方への支援や配慮などについて伺います。

答弁.. 乳幼児を預けられない方や高齢者で移動手段がない方については、お子様もしくはご自身のかかりつけ医での個別接種を選択していただくことを考え

ています。在宅の要介護者については、巡回診療等の方法が厚生労働省の資料で示されていることから、本市で実施可能かどうかを検討してまいりたいと考えています。

質問.. 高齢者が入居、居住する介護保険施設や一定の高齢者施設での接種について伺います。
答弁.. 特養等の入所型の施設については、嘱託医とか協力医療

関がありますので、その施設で接種することが可能です。職員も一緒に優先順位であり、その施設で接種できます。医師と施設のやり取りの中で、期日とかやり方等を検討していただきます。

通所型については、その施設で受けることはできませんので、かかりつけ医での個別接種もしくは集団接種になります。